

報道関係者各位

RWDテクノロジーズジャパン、RWD uBenchmark™を出荷 ---社員のソフトウェア使用状況を分析し、教育投資・情報化投資を最適化---

RWDテクノロジーズジャパン株式会社(代表取締役社長：吹田 順一郎、本社：東京都千代田区大手町1-5-1大手町ファーストスクエア イーストタワー4階、以下RWDテクノロジーズジャパン)は、企業における社員のソフトウェア使用状況を使用ソフトウェア毎やユーザ毎にその使用率やエラー率を集積・分析できる新製品「RWD uBenchmark™ (RWD ユー・ベンチマーク)」の出荷を開始する、と発表致しました。

<RWD uBenchmark™とは>

「RWD uBenchmark™」は、個々の社員のPCにインストールすることで、サーバー側で社員のソフトウェアの使用状況を集積することができます。その集積したデータをもとに、ソフトウェアの使用率、エラー率、頻繁におこるエラー箇所などを分析し、各社員のトレーニング計画・実施に役立てるなど、あらゆる社員の業務を効率化し、企業による社員の即戦力化に貢献するトータル教育ソリューションの先兵的ソフトウェア製品です。また「RWD uBenchmark™」は社員のソフトウェアの使用状況を明らかにするため、その企業の社員にとって必要なソフトウェアとそうでないものの分類に役立てることもでき、結果として企業の情報化投資を最適化することも可能となります。

この「RWD uBenchmark™」の使用によって社員の要トレーニング分野を分析した後は、既に販売しております弊社ソフトウェア製品の「RWD uPerform® (RWD ユー・パフォーマンス)」を使用し、教育に必要なトレーニングコンテンツ（操作マニュアル、動画、e-ラーニングコース）の自動作成を行っていくことで必要な教育を素早く、コストを抑えて実施することができるようになります。

<RWD uBenchmark™の優位性①>

「RWD uBenchmark™」はMicrosoft® Windows上®で動作するほぼ全てのアプリケーション、Webサイト、Webアプリケーション（クラウド上で使用するアプリケーション等）、さらにSAPシステムについての使用状況をキャプチャーし、ユーザ毎およびアプリケーション毎（SAPについてはトランザクション毎）のユーザパフォーマンスやサポートニーズを分析し、企業内の教育的投資・情報化投資を最適化します。

<RWD uBenchmark™の優位性②>

教育的視点から大きく5つのメリットが上げられます。

1. 教育的投資が必要なアプリケーションを明確化できること
2. 教育が必要な部門や対象ユーザを特定できること
3. 活用されていないアプリケーションの操作方法などをドキュメント化して作成&配信することによって活用度合いを向上させることができること
4. 成績優秀社員の最適アプリケーション使用状況をモニタリングすることにより、これをモデルとして他の社員のパフォーマンス向上に活用できること
5. 社内階層別の最適アプリケーション使用状況をモデル化し、社内階層別教育に活用できること

<RWD uBenchmark™の優位性③>

管理者視点・コスト管理視点から大きく3つのメリットが上げられます。

1. 活用されていないアプリケーションのライセンス費用・保守費用を削減できること

2. アプリケーションの利用状況をモニタリングすることにより、システムパフォーマンスを改善し、安定したシステム稼動を実現できること
3. アプリケーションの利用状況に応じた最適な社内 I Tサポート体制を構築できること

<RWD uBenchmark™の優位性④>

本製品は、日本語、英語、ドイツ語、フランス語に対応しております。また製品サポートに関しては、弊社製品サポートセンターにて受け付けております。また製品の購買顧客に対する使い方トレーニングは有償にてご提供させていただきます。

<ビジネス目標・製品価格>

RWDテクノロジーズジャパンはこの製品を既存の200社以上の国内顧客のみならず新規に幅広く販売していく予定で、今回の発売開始に合わせ新たに販売パートナーも募集していく所存です。今回発表する新製品の「RWD uBenchmark™ (RWD ユー・ベンチマーク)」、および販売中製品である「RWD uPerform® (RWD ユー・パフォーマンス)」は、特定ERPパッケージのみならず、Microsoft® Windows®上で動作するソフトウェア製品に対応可能なため、企業のみならず、大学・研究所などの教育機関や病院などの医療機関においても幅広く教育コストを最小化しながらその効果を最大化させるソリューションとしてご活用頂ける製品となっております。

製品価格はキャプチャー及び分析できる対象範囲によって異なり 1 ユーザあたり5,000円から17,000円となり、1社あたりの最低販売価格は140万円となっております。

RWD テクノロジーズジャパン株式会社(<http://www.rwd.com/japan>)について

RWD Technologies 社と SAP 社の合弁企業「SAP ラーニングソリューションズジャパン株式会社」として 2002 年 3 月に設立。2003 年 12 月に米国 RWD Technologies, LLC. (本社：米国メリーランド州 <http://www.rwd.com>) 100%出資子会社となり、「RWD テクノロジーズジャパン株式会社」に社名変更。情報系システムを新規導入・バージョンアップする顧客企業に対して、エンドユーザ向けコンサルティングサービスを中心に企業パフォーマンスの向上に関するコンサルティングを展開する I T系教育コンサルティングファーム。SAP 社のグローバルレベルでの認定エデュケーション・パートナーであることもあり、SAP システムユーザ顧客企業を中心に全世界で3,000社以上、日本で200社以上の既存顧客を有しています。RWD Technologies は全世界において、エンドユーザ向け教育コンサルティングサービスビジネスのみならず、顧客企業のパフォーマンスを向上させることに関するあらゆる種類のコンサルティングサービスを顧客のシステムの種類を問わず展開しており、日本市場においても今後さらにあらゆる I T系システムを活用されるお客様のパフォーマンス向上及びお客様社員の満足度向上のために必要とされるソリューション及びコンサルティングを提供していく所存です。

本件に関するお問い合わせ先

記事中に読者からの問い合わせ先を記載される場合は、下記をお願い致します。

RWD テクノロジーズジャパン株式会社 03-5219-1300 (代表)

報道関係からのお問い合わせは以下の担当にお問い合わせ致します。

RWD テクノロジーズジャパン株式会社 広報担当：田中 美穂

電話：03-5219-1300 (代表) E-mail：info-japan@rwd.com